



NT

NISSEKI TOKYO

2019
Summer
Vol.22

特集

人をおもい、 未来をつくる

— おもいが人を動かすとき —



Contents

- 04 平成30年度活動資金の使途報告
- 06 れっどくろす News&Topics
- 特集**
- 08 人をおもい、未来をつくる
— おもいが人を動かすとき —
- 18 Hospital Referral
武蔵野赤十字病院／大森赤十字病院／葛飾赤十字産院
- 21 献血 NEWS
- 22 福祉施設 NEWS
- 23 国際 NEWS
- 24 行け!OLレポーター オカモト★ 日赤とつげきレポ —vol.16 新宿東口駅前献血ルーム編—
- 25 NT information
- 26 赤十字Supporters
- 27 活動資金協力者(社)・団体のご紹介
- 28 プレゼント
- 30 Rediscovery TOKYO —第15回 小石川—

日本赤十字社は、献血つながりプロジェクト
「みんなの献血」を全国で開始しました。

公式WEBサイト
はこちら▼



スペシャルムービー
はこちら▼



それは、献血がつくりだす
たくさんのつながり。

献血つながりプロジェクト

みんなの献血

みんなの献血。

それは、献血がつくりだすたくさんのつながり。

献血を通して体験できる、いくつもの出会いや感動を届け、
あなたと、あなたの大切な人をつなげるプロジェクトです。
1年間にわたって、さまざまな活動を展開していきます。

全国の献血ルーム、献血バスで
みなさんにお会いできる日を楽しみにしています。

献血つながりプロジェクト

献血つながりプロジェクト

献血つながりプロジェクト



日本赤十字社
Japanese Red Cross Society

人間を救うのは、人間だ。

平成30年度も災害が頻発した**1**年でした。

皆さまからお寄せいただいた**活動資金**は、
被災された多くの方々の「救い」となりました。

7月

西日本豪雨災害

平成30年7月豪雨災害は、西日本を中心に甚大な被害をもたらしました。日赤では、特に被害が大きかった岡山県、広島県を中心に救護班やDMAT（災害派遣医療チーム）等を派遣し、保健医療ニーズの調査、巡回診療、こころのケアの活動やその他物資の配付、ボランティアの活動などを行いました。東京都支部からも心のケア班や災害医療コーディネートチームなどを現地に派遣して支援活動を展開しました。



持病があっても安心でした

糖尿病ですが、避難所に日赤の救護班の方々がいてくれて安心して過ごせました。いろいろな場面で支援してくれて頭が下がります。



北海道胆振東部地震

9月

平成30年9月6日午前3時8分頃、北海道で最大震度7の揺れが観測されました。日赤では発災直後から北海道支部を中心に情報収集や連絡調整にあたり、現地対策本部を設置して被災地でのニーズにあわせて迅速に活動をしました。東京都支部管内からは武蔵野日赤、大森日赤の医療救護班を現地へ派遣し、被災された方々に寄り添い支え続けました。



眠れてほっとしました

避難所の硬い床の上では寝づらく、眠りも浅かったけれど、日赤が設置してくれた段ボールベッドは意外と寝心地が良くてほっとしました。



救護・救援活動

平成30年度も地震や水害などの大規模災害が頻発し、災害救護団体としての役割は大きなものになりました。また、東京都支部が日頃から普及を進めている防災・減災についても改めてその重要性を確認したところです。平時からの備えと発災後の対応の双方の力を高めることが一人でも多くの命を救うことにつながると考えており、日々ジミチに努力を重ねています。

27.4%

平成30年度歳出額

14億8,328万7,911円



奉仕団・青少年赤十字の支援 11.1%

地域のつながりや特技を生かしボランティア活動を行う赤十字奉仕団の活動推進や、学校教育を通じて人道の大切さを伝える青少年赤十字活動の充実など、さまざまな事業を支援しています。



献血推進 1.3%

赤十字会員の加入促進 11.6%

社会福祉施設の運営 2.5%

資金積立（災害等・施設整備） 14.5%

救急法などの講習普及活動 4.1%

災害時だけではなく、日常におけるけがや病気などのリスク対応も多くの苦しむ人を救うために必要です。社会のニーズや受講者の視点も踏まえながら、一人でも多くの方に受講いただけるよう工夫しています。



看護師養成 1.0%

広報活動 3.9%

社屋修繕等 2.9%

活動の運営管理 19.7%

葛飾赤十字産院が新病院起工式 令和3年に開院予定

葛飾赤十字産院の新病院起工式が6月3日、建設地の葛飾区新宿（にいじゅく）で行われ、葛飾区長をはじめ約50人が参列しました。

葛飾赤十字産院は、昭和28（1953）年に現在地である葛飾区立石に開院。これまでに改

築補修をくり返してきましたが、近年は施設の老朽化や耐震化対応が急務となっていたことから、葛飾区の協力により、葛飾区新宿の区立図書館跡地へ移転新築することとなりました。

新病院では、全室個室とNICU（新生児集中治療室）の療養環境整備により、快適な入院環境と質の高い温かな医療を提供します。また、周産期医療の中核病院として、地域連携を強化し、地域の出産・子育て支援の充実に貢献していきます。



新病院イメージ



起工式での鉄入れの儀（左から、東京都支部・中川原米俊事務局長、日本赤十字社・宮原保之医療事業推進本部長、葛飾赤十字産院・三石知左子院長）

新病院1階の一部には、葛飾区立図書センターが整備され、病院を受診する方だけでなく、広く地域の方々に親しんでいただける施設となります。開院予定は令和3（2021）年6月です。新しい病院としてのスタートにご期待ください。

5月は赤十字運動月間 都内各地でもPR活動を実施



献血ルームのある新宿通りに掲出したフラッグ

5月1日は日本赤十字社の前身である博愛社の創立記念日、5月8日は赤十字の創始者であるアンリー・デュナン生誕の日です。このため日本赤十字社は、毎年5月を「赤十字運動月間」とし、赤十字を身近に感じ、理念や活動に理解を深めていただけるようPR活動を展開しています。

東京都支部の所在地である大久保・新宿



大久保通りに掲出したフラッグ

東口エリアでは、商店街振興組合の皆さまにご協力いただき、赤十字フラッグを掲出しました。

大森赤十字病院と武蔵野赤十字病院では、5月25日に患者さんや地域の方々を招きイベントを開催。災害救護に関する展示や防災・減災をテーマにした体験会、バザーや市民講座など、楽しみながらも暮らしに役立つ

プログラムを提供することで、来場者には有意義な時間を過ごしていただきました。



青少年赤十字メンバーが伝える!防災グッズ体験コーナー（大森日赤）



赤十字の国際活動に関する展示を見る来場者（武蔵野日赤）

赤十字クリーンプロジェクト 7月と9月に「統一行動日」

東京2020参画プログラム「赤十字クリーンプロジェクト」は、都内の赤十字奉仕団、JRC加盟校等が中心となり「地域とのつながり」を深めるための清掃奉仕活動をしています。来年の東京2020を目前に「統一行動日」として、7月21日午前10時から東京オリンピック自転車競技会場の沿道で、9月15日9時から東京オリンピック日本代表選考競技会が開催されるオリンピックマラソン会場で、クリーン活動を実施します。



昨年実施したクリーン活動のようす

命を助けるお仕事体験しませんか？ ～つながるいのちいのちのち～



模型を使って血液を成分ごとに分ける子どもたち

今年も小学生を対象に、赤十字血液センターのお仕事体験を行います。模型を使い、血液を調べたり分けたり、献血した血液を患者さんに届けるまでの過程を体験。夏休みの自由研究にもぴったりです。献血からはじまる命のつながりを楽しく学びませんか？

8月13～15日、東京国際フォーラムにて。対象は小学3～6年生。参加方法等詳しくは「ホップ!ステップ!! 2020!!! 東京国際フォーラムで夏休み～丸の内キッズジャンボリースペシャル版～」HPをご覧ください。

青少年赤十字ボランティアが 上野動物園で迷子相談

元号改正に沸く10連休の上野動物園で、高校生の青少年赤十字メンバーらが迷子相談ボランティアとして活躍しました。

参加メンバーは、声掛けにより迷子防止に努めるとともに、迷子の保護や捜索を行いました。

7日間でのべ250人のボランティア・運営スタッフが活動し、発生した迷子を全員、保護者の元へ引き渡すことができました。



迷子には優しく声をかけて不安を和らげます

減災セミナーなどを開催 墨田区連合町会長の方々が参加



パンダナ1枚で止血ができると知り、驚きの声も

東京都支部は墨田区連合町会長の方々を対象に5月13日、日本赤十字社関東甲信越ブロック血液センター（江東区）で「赤十字減災セミナー・血液センター見学会」を開催しました。

減災セミナーの応急手当の実践では、身近なもので簡単にできることを知り、町会で



初めて目にする検査のようすに見入る参加者たち

もセミナーを開催したいという声があがるなど、災害への備えの重要性を再認識する機会となりました。血液の検査、製造工程の見学では、安全な血液製剤の安定供給に取り組む様子に質問も多く出され、「献血についての認識が大きく変わった」と興味深くご覧いただきました。

東京に新しい奉仕団が設立 隊友救護赤十字奉仕団



にこやかに団旗を受け取る森田英男委員長（左）

新たな奉仕団が5月12日、設立されました。自衛隊経験者がその技能経験を活かして奉仕活動を行う「東京都隊友救護赤十字奉仕団」です。災害救護活動への協力や防災訓練等への参加・協力、自衛隊関連施設等における献血の推進などに取り組む予定です。都内には地域赤十字奉仕団が38団、青年学生奉仕団が18団、特定の技能を持つメンバーで構成される特殊奉仕団があり、同奉仕団は18団目の特殊奉仕団です。



特集

人をおもい、 未来をつくる

—— おもいが人を動かすとき ——

「人と人が支えあう社会」

「新たな一歩を踏み出す若者を応援する人がいる社会」

「人の持つ可能性を活かせる社会」

表現は違っていても、そこには「希望ある未来をつくりたい」という共通の思いが存在する。

私たちが未来を望むとき、そこには少なからず

「誰かを思う気持ち」が生まれてくるのではないだろうか。

そんな思いを自然体で表現している人を紹介したい。

ライフワークとして、あるいは仕事として、活動スタイルもきっかけもさまざまだが、仲間と支えあいながら、支援の輪を広げながら、活動が続けている。

はじめから大きなことをめざす必要はない。

自分の思いに素直に向き合い、新たな一歩を踏み出すことが、未来をつくる力になるのではないか。

思いをもった人が、行動を起こしやすい世の中になってほしい。行動する人を、素直に応援できる世の中にしたい。

この特集をきっかけに人をおもう心が芽吹き、行動の花が開くことで、希望ある未来につながっていくことを願っている。

で、心がオープンになりますよね。積極的にもなるし、自分自身の問題に直面する機会も多い。私は周囲に合わせてしまうタイプで、リーダーを務めた時も、自分の言いたいことを抑えて、みんながやりたいことを優先させていました。問題が起きるのが好きではなくて、その場が上手く回ればいいと考えていたんですね。でも、「それではダメ。自分の気持ちに引き合わない」と言われて。そのことが、自分が変わる大きなきっかけになりました。

自分の弱さを認めると 自分が好きになる

佐藤 いま、私の周囲にいる学生たちも、かつての私と同じ悩みを持つっている子が多い。そういう子たちに、自分の個性や強みを見つけてほしいし、そうした機会を提供したいなと思っています。自分の弱さを認められると、自分のことが好きになれますから。

穴倉 CFFではリーダーになる時に大目標をつくるんです。活動の目標という目先の話ではなくて、大きく言うと「自分の命をどう使うのか」「どう生きるのか」

中で、将来は子どもに関わりたのか、青少年の育成に携わりたのかなど、よくわからなくなってしまうんです。やりたいことを片っ端から試した結果、青少年の育成に関わりた実感し、青少年のボランティア活動を支援する団体の職員になりました。現在は一般企業に勤めていますが、自分のやりたいことはCFFで続けていこうと思っています。

仕事をしながら 続けられる理由

——仕事とボランティア活動の両立は大変では？

穴倉 学生時代と比べると時間がなくて大変な時もありますが、社会人になった時にボランティア活動をやめるという選択はまったくなかったですね。使命感や義務感からではなくて、活動に楽しさやよここび、学びや気づきがあるので続けています。

佐藤 皆さんも、例えばフェスに行くのが好きだったり、好きなバンドを追っかけたり、いろいろ趣味がありますよね？ 私たちはたまたま、アンテナの方向がボランティアに向いているだけなんだと



6 活動を通して悩みながら成長するプログラムリーダーたち（上段左から学生時代の佐藤さん、穴倉さん）／7 マレーシアのチャリティーコンサートで現地スタッフ（中央）との再会を喜ぶ2人／8 活動を共にしてから7年を超える2人は、いまま切磋琢磨しあう存在



思います。ボランティアという意識の高い人がやっているイメージがあるかもしれませんが、趣味やサークル活動と同じようなものだと思っています。

穴倉 「なんでボランティア活動を頑張れるの？」とよく聞かれるのですが、そういう意識はないんです。ただ単に楽しいから。それと、社会とつながる場が、仕事のほかにもう一つあるのは、大切なことだと思います。自分の居場所でもあり、ミッション（使命）を果たせる場、やりたいことができる場。私にとってはそれがCFFでした。

佐藤 私はいま、学生たちがいるいろんなことを学び、葛藤しながらステップアップしていく過程に関わりたと思っています。CFFに育ててもらったように、次の子たちにそれをつなげていきたい。それが活力になっています。

誰にでもある 社会とつながる喜び

——ボランティア活動というと、「いい事だけ」でなかなか参加できない」という人が多いと思うのですが。



CFF ジャパンとは

認定NPO法人CFF ジャパン (Caring for the Future Foundation Japan)。通称CFF (シーエフエフ)。フィリピンの路上で暮らす子どもたちと出会った初代表と学生たちが1996年に設立。世界の厳しい立場におかれた「子どもたちの支援」と、未来の社会を担う「青年育成」に取り組む。ワークキャンプやスタディツアーを通して、これまでに4000人以上がフィリピンとマレーシアの「子どもの家」の取り組みに参加。帰国した参加者が取り組める国内プログラムも展開している。

<http://www.cffjapan.org>



マレーシアの子どもたちの家。CFFジャパンのキャンプ地の一つ

ということに向き合います。

佐藤 活動していると、「なんでそう思うの？」と価値観を問われたり、自分の問題意識を深掘りされることが多いですね。そうやって突き詰めていくと、自分の考えの本質や軸が見えてくるんです。

穴倉 自分が大切にしたいことや使命にイヤというほど向き合わせれましたね。いまではそれが、何かの判断やアクションを起こす時に立ち戻る大切な基盤になっています。

ボランティアの経験が 進路にも大きく影響

——ボランティア活動で得たものが就職にも大きく影響しましたか？

穴倉 キャンプやリーダーの経験から、「二人ひとりに必ず役割がある」と確信し、「一人ひとりの役割が果たされる社会を築きたい」と考えるようになりました。就職活動を通して、働くことも社会で役割を発揮する手段の一つだと気づき、人と仕事をつなげる転職支援の仕事に就きました。

佐藤 私は大学で国際協力を学んでいましたが、CFFで活動する

であるという感覚を持てる方が、人生はハッピーな気がします。

佐藤 参加しようかなと迷っていたら、とりあえず気軽に、ボンと参加してみてもいいかなと迷っていません。最初は興味本位でいいと思います。

穴倉 迷っている時点で、やりたいたと思っています（笑）。楽しそうと思ったらやってみなきゃ損ですよ。自分の参加しやすいところから始めてみてはどうでしょうか。



宮城県赤十字血液センター勤務時代

野口英世の伝記に影響を受けて、小さい頃から「弱い立場の人を助ける仕事かしたい」と考えていました。大学卒業後は日本赤十字社へ。東日本大震災の時は宮城県赤十字血液センターに勤務していました。当時、私はストリートダンスを踊っていたので、プレイベートではチャリティーイベントを開いて被災地に支援物資を届けたことも。そのほかにも、社会的対話の場をつくりたいとお寺でフェスを企画するなど、働きながらさまざまな社会貢献活動に取り組んでいました。

その頃、身内が統合失調症を発症したのですが、精神疾患に関する知識もなく、どうサポートをしたらいいのかもわからない、という経験をしました。情報を知っているか知らないかということが人生を大きく分けてしまうこともあると、その時気づきました。

精神疾患に限らず、何らかの困難がある人や周囲の人が、困った時に良い情報を得られる機会があれば、本当はもっと助かる人が多いただろうし、解決される課題もたくさんあるのではないかと思います。それがウェブメディアの立ち上げにつながっていききました。インターネットであれば、いつ、どこにいても、誰でも無料で情報を検索することができずから。

苦しんでいる人に
手を差しのべたい

希少な障害や難病、LGBTや社会的養護が必要な人、貧困や格差など、社会にはいろいろな生きる上での困難があります。そんな困難にあった時に、少しでも希望が持てて、安心できる情報に必ず出会えるようにしたいと思いました。

自分と同じ病気の人の情報を探そうとしても、顔や名前を公表して、自分の人生を語っている人に



1 soar立ち上げ以前に取り組んだチャリティーイベント／2「社会的対話の場をつくりたい」と企画した寺フェス／3 soarの活動説明会



誰もが自分の可能性を活かして自分らしく生きられる社会に

ウェブメディア『soar』編集長・工藤 瑞穂さん



工藤 瑞穂さん
Mizuho Kudo

● NPO 法人 soar 代表理事・ウェブメディア「soar」編集長

1984年青森県生まれ。宮城教育大学卒。仙台の日本赤十字社に勤務中、東日本大震災を経験。震災後、仙台で音楽・ダンスと社会課題についての学びと対話の場を融合したチャリティーイベントを多数開催。2015年12月より、社会的マイノリティの人々の可能性を広げる活動に焦点を当てたメディア「soar」をオープン。すべての人が自分の持つ可能性を発揮して生きていける未来づくりをめざす。

写真提供：NPO 法人 soar

障害や難病、LGBT、貧困、格差の中の子どもなど「社会的マイノリティ」の人々が持つ可能性が広がる瞬間を捉えるウェブメディア『soar』。発起人であり、編集長でもある工藤瑞穂さんは、「誰もが自分らしく生きられるというメッセージを伝えることで、障害や病気のあるなしに関係なく、みんなが自分の可能性を活かせる社会をつくりたい」と話します。

「日常の中で回復の時間をつくってほしい」との思いで開発した soar tea (今号の読者プレゼントにも。詳しくはp28参照)



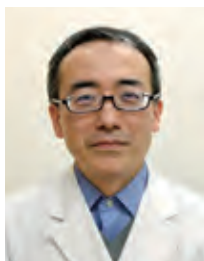
JRC OMORI HOSPITAL

大森赤十字病院

■所在地 〒143-8527 東京都大田区中央4-30-1
 ■連絡先 Tel 03-3775-3111 (代表)
 ■休診日 土曜、日曜、祝日、年末年始(急患は随時)
 ■病床数 344床(一般326床、ICU・CCU 6床、HCU 12床)

腎高血圧内科部長

澁谷 研
Ken Shibuya



腎高血圧内科は、腎臓病と高血圧を主に診療する科です。その立場から熱中症と脱水の問題を考えてみたいと思います。

近年、地球温暖化が進み、夏の各地の最高気温が更新されています。このような時期に日よけがないと、暑さで皮膚の血管が拡張し、脳血流が低下して熱失神になります。また、汗をかいても十分に水分を摂らないと血管や細胞の水分が不足して脱水、熱疲労になります。汗には塩が含まれています。

熱中症が起きる仕組み

腎臓は、腰のあたりにある左右一対の空豆のような形をした臓器です。尿をつくることで、身体の中の余分な毒素や不要な酸、塩分などの電解質を排泄しています。腎臓が働くことによって、私たちは体内の水分や塩分について一定の状態を保つことができます。これを「恒常性」と言います。

腎臓は、腎臓の上にある副腎と協力して塩分や水分の出入りを調節し、血圧も調節しています。腎臓の機能が低下してくると、これらの調整が難しくなることで尿毒症となり、腎臓の代わりとなる治療や透析・移植が必要になります。

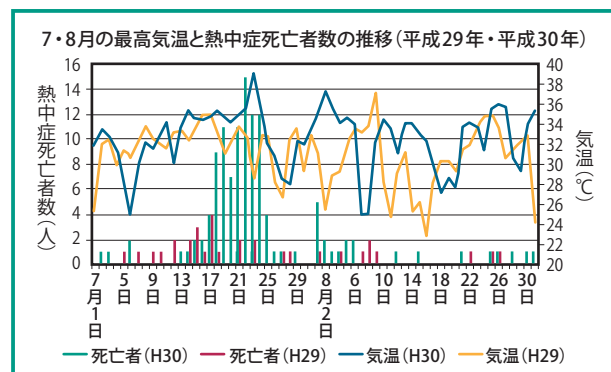
塩の含まれていない水分のみを摂取していると熱痙攣となり、筋肉のこむら返りが起きます。冷房や換気がない部屋にいたり汗も蒸発しなくなると皮膚の温度が上がります、意識障害が進み昏睡状態になることも。ついには、熱射病となり命の危険が迫ってきます。

熱中症とはこれらの一連の経過を指します。とりわけ乳幼児、高齢者、肥満気味の人は注意が必要です。乳幼児は体温調節機能が大人ほど発達しておらず、高齢者はその機能が若い時よりも低下しているからです。肥満気味の人は、体積に対して体表面積が少なく熱をためやすいことが原因です。

睡眠不足で体調不良の時や水分補給が足りない時、外での長時間の労働、空調がきいていない閉めきった部屋での作業時は要注意です。減塩を指導されている方も、汗を多くかいた時は別です。適切な温度で冷房を使い、電解質の入った水分を摂り、風通しを良くして、暑い夏をうまく乗り切りましょう。



腎高血圧内科のメンバー



熱中症と脱水に要注意！

腎高血圧内科の立場から



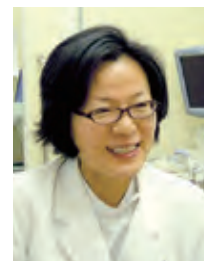
JRC MUSASHINO HOSPITAL

武蔵野赤十字病院

■所在地 〒180-8610 東京都武蔵野市境南町1-26-1
 ■連絡先 Tel 0422-32-3111 (代表)
 ■休診日 土曜、日曜、祝日、5月1日(赤十字創立記念日)、年末年始
 ■病床数 611床(一般528床、ICU 8床、HCU 22床、GICU 6床、SCU 9床、NICU 6床、GCU 12床、感染症 20床)

産婦人科部長

小林 弥生子
Yaeko Kobayashi



厚生労働省は中核病院11病院と連携病院135病院を、がんゲノム医療を提供する施設に指定しています。当院は昨年10月に連携病院に指定され、岡山大学病院、国立がん研究センターと連携してがんゲノム医療の提供を開始しました。

新しい「がんの個別化医療」

がん遺伝子パネル検査は、現在がんの治療を受けていて、標準的な治療に効果が乏しい方が対象になります。採取したがんの組織を最新の遺伝子解析装置を用いて、がん関連遺伝子について一括して

がんは、喫煙、食物、紫外線や加齢などさまざまな要因により、遺伝子に病的な変化(変異)が生じ、複数の変異が積み重なることで発生する「遺伝子の病気」であると言われています。ゲノムとは「遺伝情報の全体」を意味します。

がんゲノム医療では、がんの発生に関係があるとわかっている数百個の遺伝子を一括して解析する検査(がん遺伝子パネル検査)を行い、遺伝子の変異に応じた最適な治療を提供する医療です。

解析し、変異を検出します。遺伝子変異が治療に影響を与えるものかどうかを、さまざまな情報をもとに判断し、最終的に遺伝や薬物療法、がん治療の専門家が集まるエキスパートパネルと呼ばれる会議で治療の選択肢を検討します。検査には2か月程度かかります。

ゲノム医療は始まったばかりで、検査を受けたすべての患者さんに最適な治療が提供できるわけではありません。

選択された薬剤が保険適用になっている場合には、通常通りに治療を受けられますが、検査で遺伝子変異の状況がわかっても対応する薬剤がないなど、治療につながらない場合もあります。

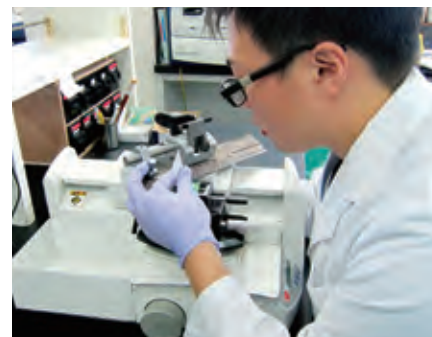
将来、がんゲノム医療が進んでいくと、ゲノム医療のデータが累積して治療薬・診断法の開発が進み、新たな治療に結びつく可能性があります。

多くの患者さんに良いがん治療が届けられるように、私たちはがんゲノム医療を推進していきたいと考えています。

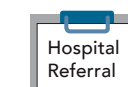
新たな治療の可能性



がん治療の専門家が集まるがんゲノム会議



患者さんの身体の細胞や組織について調べているところ





葛飾赤十字産院

- 所在地 〒124-0012 東京都葛飾区立石5-11-12
- 連絡先 Tel 03-3693-5211 (代表)
- 休診日 日曜、祝日、年末年始
- 病床数 113床 (産婦人科68床、NICU・GCU等45床)

タッチケアって、聞いたことがありますか？ 早産で小さく産まれた赤ちゃんなど、看護ケアが必要な赤ちゃんの療育に良いケアの方法です。

タッチケアってなあに？

身体と心がふれあうケア

赤ちゃんの身体にそつと手をおくホールディング、赤ちゃんの身体へのゆっくりとしたマッサージ、そして手足をゆっくり緩やかに動かす運動を組み合わせた運動感覚刺激法を含んだ赤ちゃんへのケアをタッチケアと言います。

包みこむようにふれる

当院のNICU（新生児集中治療室）・GCU（新生児治療回復室）には早産で小さく産まれた赤ちゃんや、さまざまな看護ケアが必要な赤ちゃんが入院しています。保育器の中にいる小さな赤ちゃんはストレスに弱いため、赤ちゃんを包みこむようにふれるホールディングでタッチケアを行っています。ホールディングはママやパパにとつてもわが子を実感する大切なひとときであり、赤ちゃんにとつても親の手で温かく優しく包みこまれることで、心地よさを感じることが出来ます。

状態が安定し、保育器から出てベッドにいる赤ちゃんに対しては週1回程度、ご家族を対象にタッチ

ケア教室を開催しています。タッチケアの効果としては、赤ちゃんの情緒が安定して寝つきがよくなる、体重が適切に増加すると言われています。さらに、子どもとのふれあいを通して親子の結びつきを強め、赤ちゃんの発達を促すとされています。アイコンタクトが多くなり赤ちゃんが笑顔を見せて声を出し、近づこうとする反応も見られるようになります。

タッチケアに参加したご家族からは、「保育器の中にいた頃は小さくてふれることにドキドキしていたが、タッチケアをすることでふれるうれしさを感じ、安心してふれあうことができるようになった」「赤ちゃんの気持ちの良い場所がわかりコミュニケーションもとれた」「最初は泣いていたけれど、慣れてきて気持ちの良い顔をしていた」「主人にもぜひ一緒にやってもらいたい」などの声が聞かれました。

これからも私たちは、タッチケアを通して「身体と心がふれあうケア」をめざしていきます。



ママの手に包まれ、赤ちゃんも気持ち良さそうです



タッチケア教室では、説明しながら一緒に実践します



バスケットチームとの協働がスタート！

献血の大切さを多くの人に広めたい



試合前から熱気が伝わってきました

東 京都赤十字血液セン
ターでは、今年度から
都内のプロバスケットボール
チーム「東京エクセレンス」お
よび「サンロッカーズ渋谷」と
協働して、献血の推進・啓発
活動を行っています。

**超満員の会場で
紹介チラシを配布**

協働の第一弾として、4月
20日と21日に行われた両チー
ムのホームゲームで、献血推
進パンフレットや近隣献血
ルームの紹介チラシを配布し
ました。両会場とも超満員。
多くの方に手に取ってもらっ
ことができました。今後も両
チームとの協働を深め、多く
の方に献血の必要性を知って



東京エクセレンスの専属チア「エレガンス」の皆さん

いただければと考えています。
両チームに、活動に至った
経緯や思いをお聞きました。

「自分事」と感じてほしい
東京エクセレンス

少子高齢社会が進むなか、
若年層の献血者が減少してい
る状況があり、輸血医療に支
障が出る可能性があることを
知りました。若年層や家族層
が多く来場する私たちの試合
で、献血への協力を推進でき
ないかと感じました。

いまの社会で起きている問
題、近い将来に訪れる問題を、
決して他人事ではなく、自分
事として感じていただき、な
ぜこの活動に取り組んでいる
のか理由をしっかりと伝えてい

くことで、賛同してくださる
方が少しでも増えてくれれば
と思います。（事業部 石坂聡さま）

「東京エクセレンス」は、板橋
区を中心とした城北地区を拠
点とするチーム。2019-
2020シーズンからBリー
グB2への昇格が決定。

**プロスポーツチームが
できることを**

サンロッカーズ渋谷

先日、スポーツ選手が病に
かかったことを公表した際、そ
れをきっかけに多くの方がア
クションを起こしたことに、ス
ポーツの力やスポーツ選手が
持つ影響力の強さを感じまし
た。この出来事を通じて、ス
ポーツチームとしてできるこ



専属チア「サンロッカーガールズ」の皆さん



試合の様様

との一つが情報発信や啓蒙活
動であると再認識しました。

若い世代の献血者が減少し
ているというお話を聞きました。
私たちの試合の観戦者は
比較的若い層ですので、その
方々への献血協力をお願い
や、血液センターが抱える課
題と一緒に考える機会をつく
っていただきたいと思います。

バスケットボールも献血
も、応援してくれる人、思いを
共有する人が多ければ多いほ
ど、心強く感じます。そのよ
うな社会を、この活動を通じ
て一緒につくっていきたくい
です。（広報・西祐美子さま）

「サンロッカーズ渋谷」は、B
リーグB1東地区に所属する、
渋谷区を拠点とするチーム。

「昭憲皇太后基金」の配分先が決定

現在の開発援助の先駆け

WORLD
NEWS

第98回 昭憲皇太后基金配分事業の概要

赤十字社名と事業概要	金額
モザンビーク赤十字社（アフリカ） 若手ボランティアの体制強化	約334万円
サントメ・プリンシペ赤十字社（アフリカ） 高齢者施設の改装	約334万円
ギニアビサウ赤十字社（アフリカ） 迅速な災害対応の強化	約323万円
ボリビア赤十字社（南アメリカ） ジェンダーに基づく暴力の防止	約329万円
スリナム赤十字社（南アメリカ） 学校における防災・減災事業の強化	約332万円
メキシコ赤十字社（中央アメリカ） 学校のレジリエンスの強化	約319万円
タイ赤十字社（アジア大洋州） 緊急時の水・衛生・保健事業の推進	約328万円
パヌアツ赤十字社（アジア大洋州） ジェンダーや障がいなどに配慮した防災事業等の推進	約306万円
シンガポール赤十字社（アジア大洋州） 災害対応の能力強化	約222万円
キプロス赤十字社（ヨーロッパ） 応急手当の普及	約299万円
スロベニア赤十字社（ヨーロッパ） ヘイトスピーチ防止等社会教育	約332万円
ウクライナ赤十字社（ヨーロッパ） ボランティアの養成・管理における技術面の改善	約311万円
イラク赤新月社（中東・北アフリカ） 子どもへの保健教育	約298万円
レバノン赤十字社（中東・北アフリカ） 安全な献血事業の実施	約334万円

世界中から応募のあった事業の中から、国際赤十字の中に設けられた合同管理委員会が毎年の配分事業を決定しており、毎年、昭憲皇太后のご命日にあたる4月11日にその結

今年度は14か国へ配分

「昭憲皇太后基金」は、昭憲皇太后（明治天皇の皇后）が1912（明治45）年、国際赤十字にご寄付された10万円（現在の3億5000万円に相当）を基に創設された基金です。世界中で武力衝突が起きていた時代に、地震や台風、火災、噴火等の災害への備えや、保健衛生の改善といった平時の活動を行うために創設された国際基金で、当時としては画期的なことでした。

果が発表されています。今年度は14か国への配分が決定されました（表）。総額は約4400万円（約39万5782スイスフラン）です。配分先は、事業目的の妥当性、ニーズ、事業のインパクト、過去の支援実績、地域バランス等を考慮して決められています。これまでの配分は、1921（大正10）年の第1回から第98回の今回までで累計約15億8400万円、配分先は170の国と地域にのぼっています。同基金は、皇室をはじめとする日本からの寄付金をもとに運営されています。昭憲皇太后の遺志を引き継ぎ、世界の赤十字社の平時における活動を支援するため、今後も活用されていくことを願っています。

赤十字国際ニュースのメルマガジンに登録しませんか？定期的にニュースがお手元に届きます。登録・閲覧はこちら↓



赤十字国際ニュース
（まぐまぐ）



昭憲皇太后（『日本から世界へ思いやりの100年』より）



若者に対する交通安全の普及（カンボジア赤十字社、2017年）



交通安全の促進に取り組む（キルギス赤新月社、2017年）

武蔵野赤十字保育園

今年もみんなで作ったよ！
「こどもの日」のこいのぼり



3歳児さんの
かわいい
こいのぼり



5歳児さんが
みんな
作ったよ！

武蔵野赤十字保育園では今年も、「こどもの日」にちなみこいのぼりの会が行われました。子どもたちはそれぞれ自分のこいのぼりをつくり、みんなに披露します。1歳児さんから3歳児さんはそれぞれクレヨンで色を塗ったり模様を描いたり、おりがみを貼って自分だけのこいのぼりをつくりま。4歳児クラスはコーヒーフィルターを絵の具で染めたうろこを貼って大きなこいのぼりをつくり、5歳児クラスは布を玉ねぎの皮やたんぼぼで染め、おりがみで飾り付けをして、大きなこいのぼりに。

園庭を泳ぐこいのぼりたち

いよいよこいのぼりのお披露目です。この日のためにつくったこいのぼりを持って、みんなで園庭を歩きます。園庭を色とりどりのこいのぼりが泳ぎ、最後はこいのぼりを上げて空に泳がせます。1歳児たちは3歳児の大きなこいのぼりが憧れようで、きらきらとした瞳でこいのぼりを見上げていました。

この日は給食も特別メニューで、こいのぼりの形をしたハンバーグやパンを美味しそうに食べていました。こうして、平成最後の行事を楽しく終えることができました。

赤十字子供の家

地域の皆さんの
ボランティアに支えられて

WELFARE
FACILITY
NEWS

赤十字子供の家では、多くの皆さんの協力で子どもたちの毎日の生活が支えられています。子どもとの関わりや行事協力を主体とした学生奉仕団活動。地域奉仕団の皆さんが幼稚園用品などを手づくりしてくださる衣類縫製活動。毎日、子どもの安全を見守ってくださる見守りボランティアさん、などなど。

学生奉仕団活動と子どもたち

都内には17の大学に赤十字奉仕団があり、子供の家にも月1回の定例交流を中心に、行事への協力や学生主体の行事の企画などに取り組んでくれています。

子どもたちはいつも、学生さんたちが来るのを楽しみにしています。学生さんが来ると一目散に駆けて来て「抱っこして～」とせがむ子や、「一緒に鬼ごっこしよう！」と活動終了まで走り回る子も。学生さんたちも「楽しむ」ことを基本として、活動終了後は活動内容の振り返りを行い、次の活動につなげられるよう反省会も行っています。

子どもたちが、大勢の人に支えられていることを実感し、たくさんの人との関わりやつながりを感じられるよう願っています。

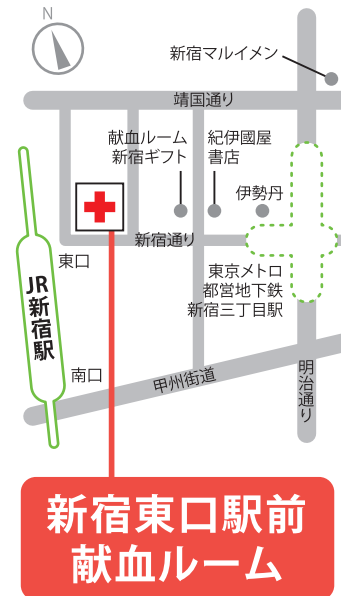
甘えんぼさんが、
いっぱい！！



サッカーは
楽しいな！



OLレポーターオカモト★日赤とつげきレポ 紹介献血ルーム



🕒 受付時間

▶ 成分献血

10:00～17:00

※受付状況により、成分献血の受付を早めに終了させて頂くことがあります。

▶ 400・200mL

10:00～18:30

☎ 電話

03-6380-0635

📅 定休日

12月31日・1月1日

📍 場所

〒160-0022

東京都新宿区新宿三丁目25-1

ヒューリック新宿ビル10階 (JR新宿駅 東口 徒歩2分)

設置(配布)協力者を募集します!

日赤東京都支部広報誌『NT』を会社や店舗などに設置、またはご友人など周りの方に配布していただける方を募集しています。

詳しくは

☎ 03-5273-6747まで
(総務部企画課直通)



NT
NISSEKI TOKYO

Vol.22
2019年7月発行

バックナンバーは
ホームページでも
ご覧いただけます。



■発行・編集・デザイン／日本赤十字社東京都支部

〒169-8540 東京都新宿区大久保1-2-15 Tel:03-5273-6747 (総務部企画課直通)

※本誌掲載の記事・写真・イラストなどの無断転写(コピー)、複製(転載)を禁じます。

※本誌に掲載されている情報は、発行に伴う情報収集時点での情報を含みます。その後の内容に変更が生じる場合もありますので予めご了承ください。

ホームページ: <http://www.tokyo.jrc.or.jp/>

Facebook: <https://www.facebook.com/redcrosstokyo/>

年4回発行(4月・7月・10月・1月)

日本赤十字社東京都支部にご寄付いただいた方に郵送でお届けしているほか、都内の赤十字病産院及び献血ルーム・献血バス等の献血会場でも配布しています。



赤十字 Supporters

学生赤十字奉仕団の経験は 自分を成長させてくれた

大田 尚亨さん（東京理科大学学生赤十字奉仕団）

大学の赤十字奉仕団のことは、友人の紹介で知りました。赤十字といっても献血のことしか知らず、最初は正直言っただけで少し堅苦しいというイメージでした。

学生奉仕団に入ってから最初の活動は献血の呼びかけ。大通りで大きな声を出すなんて初めての経験でしたが、どうせ素通りされるだろうと思っていたのに、協力してくださる方が多く、驚きと感動がありました。

その後、学生奉仕団の有志による災害対策プロジェクトチームにも参加。防災イベントや区役所などで簡易トイレづくりを呼びかけたところ、みなさん興味を持って聞いてくれました。僕たちの活動で、少しでも災害時のトイレ問題への認識が広がればいいなと思っています。

このほか、特別支援学級の子どもたちと遊ぶ日野市少年学級や、



「奉仕団活動を通して新しいことにも積極的にチャレンジしたい」と語る大田さん



仲間と一緒に駅前で献血の呼びかけ（左から2人目）

車いすで生活している学生の会「フレンズ」の仲間との交流などにも参加しています。障害があるといっても、話していると僕らの子どもの頃と何も変わらないし、特別支援学級の子が一つのことですごく熱心に取り組む姿を見て、「みんな一人ひとり違っていいんだ」と気づきました。

昨年の夏、トルコでの赤十字ユース交流事業に参加したのですが、海外の仲間たちは社会の問題や国際問題に関心を持っていて、自分との差を痛感。いまは僕も、難民の問題などに関心を持つようになりました。

学生奉仕団で活動するようになってから、性格が丸くなったと言われます（笑）。学生奉仕団の先輩たちは本当に優しいんです。高校の頃は先輩と接するのが苦手でしたが、いまは自分が先輩として、先輩たちがやりたいことをサポートしてあげたいですね。

やる気があっても、思いと現実とは違うこともあるでしょう。でも、それが自分の成長につながると思うので、先輩たちには自分の思ったことを大事にしてほしいです。

活動資金協力者(社)・団体のご紹介

皆様のご協力により日本赤十字社の活動は支えられています。
活動資金のご協力、誠にありがとうございました。

※10万円以上のご寄付をいただき、掲載をご了承いただいた個人、法人および団体等を掲載しています。

活動資金協力に関するお問合せは
東京都支部 振興課 03-5273-6743まで

●千代田区		東京マルコメみそ販売(株)	10万円	(株)水域ネットワーク	20万円
サンフロンティア不動産(株)	100万円	●世田谷区		関東商事(株)	10万円
(株)朝日写真ニュース社	30万円	山室 和夫	500万円	(株)サンテックインターナショナル	10万円
中日マテリアル(株)	20万円	小嶋 淑子	100万円	(有)中代経営	10万円
日本エンゼル(株)	11万9,273円	田中 初枝	60万円	(有)明和ビルサービス	10万円
(株)インフォーム	10万円	小嶋 召子	10万円	●八王子市	
●中央区		高橋 隆	10万円	齋藤 元泰	20万円
大地 カウ	10万円	三栄製薬(株)	300万円	高津戸 道夫	20万円
田村 恵津枝	10万円	●渋谷区		堀江 京子	10万円
(株)ケイ・エス・ジャパン	10万円	(有)外川ビル	50万円	早川産業(株)	10万円
栄香料(株)	10万円	国際空手道連盟極真会館	20万円	●立川市	
秀和工業(株)	10万円	(株)ワタナベエンターテインメント	10万円	中村 陽子	10万円
(株)タウン管理サービス	10万円	●中野区		中村 智英子	10万円
中日工業(株)	10万円	大谷 昌義	51万円	鳴島 幸枝	10万円
(株)モーリ	10万円	戸原 章子	15万円	金子 利津子	10万円
●港区		国友 明子	10万円	中村建設(株)	100万円
中江 宏	100万円	佐藤 みゑ子	10万円	●武蔵野市	
元谷 拓	30万円	●杉並区		齋藤 八郎	10万円
坂 秀文	10万円	外川 清	50万円	山崎 喜哲	10万円
アパホテル(株)	237万1,000円	石井 明	10万円	●三鷹市	
イーパートナーズ(株)	30万円	岡部 好延	10万円	牧瀬 研二	25万円
(一財)世界聖典普及協会	30万円	(株)サンライズ	50万円	志賀興業(株)	20万円
東京製薬(株)	20万円	(株)ランロウドオフィス	50万円	(株)清光園緑地	10万円
ソリッドシード(株)	10万円	(株)サトーブリアン	20万円	●青梅市	
ソレイジア・ファーマ(株)	10万円	昭和建物	20万円	橋本 勇	50万円
(有)藤井クリニック	10万円	コムシスエンジニアリング(株)	10万円	浜中 教孝	20万円
(株)ブライムオリジンズ	20万円	●豊島区		三和工機(株)	70万円
●新宿区		首都開発(株)	40万円	●府中市	
下島 博雄	50万円	●北区		高橋 勇	10万円
亀井 大悟	10万円	金子 二四男	10万円	田代 郁子	10万円
こくみん共済COOP	39万5,536円	匿名	10万円	●昭島市	
歌舞伎町商店街振興組合	12万円	●荒川区		小山 善治	15万円
飛鳥交通(株)	10万円	神谷 経子	500万円	●調布市	
(株)OEC	10万円	匿名	30万円	魚返 美智代	200万円
(株)STAYERホールディングス	10万円	●板橋区		鴨下 尚子	200万円
(株)ブライムステーション	10万円	瀬戸川 睦人	100万円	(株)オリーブデュリュック	10万円
●文京区		河島コンクリート(株)	52万円	●町田市	
佐藤 勝彦	10万円	(有)エヌティ・エイト	10万円	近藤 徳彌	100万円
杉田 良之	10万円	(株)曠淳開発	10万円	武川 節	100万円
(株)プロシッパ	100万円	(株)つくし工房	10万円	笠井 和雄	10万円
トリアマ(株)	10万円	●練馬区		●小金井市	
●台東区		横山 浩之	130万円	小金井市赤十字奉仕団	16万940円
玉姫稲荷神社 こんこん靴市実行委員会	10万円	梶原 武	100万円	●日野市	
●墨田区		加藤 寿子	50万円	清水 茜	- 円
木塚 靖夫	30万円	桑原 星明	10万円	●東村山市	
木塚 秀江	30万円	阿部 財智	- 円	中村 豊一	30万円
角谷 かつみ	10万円	(株)角産	10万円	●国立市	
●江東区		金子建材(有)	10万円	関 儀和	30万円
藤村 小弥太	10万円	(株)野島電工	10万円	●西東京市	
(株)システック	300万円	●足立区		(有)スタジオトゥインクル	30万円
(株)秋朝工業所	20万円	小倉 伸一	50万円	ムサシノ製薬(株)	10万円
鹿屋会	14万1,006円	梶 富美子	30万円	●東久留米市	
●品川区		(株)江北ゴム製作所	10万円	(株)松川物産	10万円
中村 進	500万円	●葛飾区		●武蔵村山市	
日本コンピュータ・ダイナミクス(株)	42万1,000円	酒井 照子	10万円	(有)ワタヤ	10万円
●目黒区		月村 泰之	10万円	●稲城市	
(株)昭和イーティング	30万円	(株)稲葉製作所	100万円	中西食品(株)	10万円
●大田区		神田製作所 八親会 会津 和俊	10万円	●瑞穂町	
池野 公脩	100万円	学校法人 東京聖栄大学	10万円	久馬 美智恵	15万円
尾曾 利夫	10万円	●江戸川区		匿名	100万円
蓮光院	100万円	嶋田 慶三	10万円	(株)タカヤマ	100万円
嵯峨電機工業(株)	10万円	(有)須賀商事	50万円		

(敬称略・順不同)

Present

日本赤十字社東京都支部の協賛企業様からご提供いただいています。ご応募、お待ちしております！



レザーカードケース

ダイアナ株式会社

牛革。日本製。3か所のポケット付きで収納力があります。薄くつくられているのでかさばりません。(色は選べません)



『はたらく細胞』白血球キャップ

株式会社講談社

シリーズ累計350万部突破の体内細胞擬人化漫画『はたらく細胞』から白血球キャップをプレゼント！キャップに加え、簡易レセプター、ナンバープレートも付いた非売品のアイテムです。



アバ社長ストラップ

アバホテル株式会社

強運・金運が高まるご利益とかわいらしさが人気のアバ社長カラーバージョンストラップが登場しました。プレゼントにピッタリのラッキーアイテムです。

▼ メールからのご応募限定 ▼



soar tea

NPO法人soar

“あなたの毎日に、優しい回復の時間を”をコンセプトにした「soar tea」。朝と夜のシーンにぴったりの2種類のブレンドハーブティーです。



生茶

東京キリンビバレッジサービス株式会社

低温抽出と微粉碎茶葉で苦味を抑えたうまみに仕上げました。



午後の紅茶レモンティー

東京キリンビバレッジサービス株式会社

紅茶葉のフルーティーな香りとレモンの爽やかな酸味を引き出した、本格アイスレモンティーです。

プレゼント応募方法

①郵便番号 ②住所 ③お名前、フリガナ ④年齢 ⑤性別 ⑥メールアドレス ⑦希望するプレゼント番号 ⑧本誌入手場所 ⑨本誌で良かった記事 ⑩本誌の感想(100字程度)を明記し、メールまたははがきでご応募ください。抽選でプレゼントが当たります！

締切は2019年8月31日必着。当選者の発表はプレゼントの発送をもって代えさせていただきます。

メール

nissekitokyo@tokyo.jrc.or.jp

件名には「プレゼント応募」とご記入ください。

はがき

添付の専用はがきでご応募ください。

※いただいた個人情報はプレゼントの発送および当支部からの連絡のみに使用します。お寄せいただいたご意見・ご感想は個人が特定できないよう配慮したうえで当支部が行う広報に活用させていただきます。製造状況等によりプレゼントの内容が変わる場合もございます。

協賛品募集中！ お問い合わせは ▶ nissekitokyo@tokyo.jrc.or.jp

読者の声 (vol.21)



災害の特集を組んで頂き、ありがとうございました。私も2011年の震災によって茨城で被災しました。家族や家は無事でしたが、恐怖と混乱の中で自分が無力であったことを覚えています。災害に備えることが本当に大切だと実感しました。NTを読んでくださっている方も、ぜひ災害に備えてほしいです。これからも赤十字の活動を応援しています！

茨城県・27歳・男性(献血ルーム新宿ギフト)

赤十字社の活動がわかるさまざまな記事が良いですね。各地のルームレポートも、自分が行ったところだったりすると「そうそう!」となるし、知らない所は行ってみたくなります。 東京都・35歳・女性(献血ルーム吉祥寺タキオン)

NTを町会で渡され自宅で読ませて頂き、平成の災害がこんなにも多かったことに驚きました。そして赤十字活動資金の使い道も初めて知ることができ、皆さんの活動をありがたかったです。海外での出来事も身につまされる気持ちになり、少しでも協力しなければと思いました。 東京都・75歳・男性(町会で配付)

「共助」の力を支援したい。

東京都支部が監修した新型担架(ワンマンストレッチャー)

多数のけが人や避難者が予想される災害時には、負傷された方やご高齢の方を、救護所や避難所等に搬送する手段が必要になります。そのような緊急時のために、東京都支部が監修し開発したのが、下の記事でも紹介している車輪付きの担架(ワンマンストレッチャー)です。

通常、担架での傷病者の搬送は、一般の方には4人以上で行うことを推奨しています。しかし、この担架は傷病者の足側に車輪が付いているため、1人でも搬送することができます。これにより、緊急時に大きな効果を発揮できると考えています。

こうした災害救援用資機材を各地域に配備することで、地域防災力の向上を支援し、災害時に1人でも多くのいのちを救うことを私たちはめざしています。

地域住民にも好評！ 新型担架の使用者の声

車輪が付いている担架を初めて見ました。緊急時に人手がたくさんあるとは限らないので、少人数でも搬送できるのが素晴らしいです！

救助者の人数に応じてさまざまな使い方ができるので、災害時に対応できる幅が広がりました。早速、次の防災訓練で使ってみます。



1人でも4人でも搬送できる車輪付きの担架

日本赤十字社東京都支部では、未曾有の被害が予想されている首都直下地震等の大規模災害に備え、これまでの各地域への災害救援用資機材を従来の4品目から12品目に拡充し、予算規模も既存の約4倍に増やすこととしました。

今後は自治体の防災部門と連携しながら、状況に応じて中長期的な整備を進めてまいります。

お寄せいただいた寄付金によって、次のような災害救援用資機材を各地域に配備することができます。
災害から多くの「いのち」を守るために、何卒ご協力をお願いいたします。

ワンマンストレッチャー

30,000円



けが人や高齢者を避難所や救護所、病院に搬送する手段として活用。車輪が付いており、1人での搬送も可能。

災害救援用炊出釜

200,000円



災害発生時等に避難所などで使用するほか、訓練等行事にも活用可能。女性でも持ち運びができ、安全性や機能性に優れた炊出釜。

発動発電機

200,000円



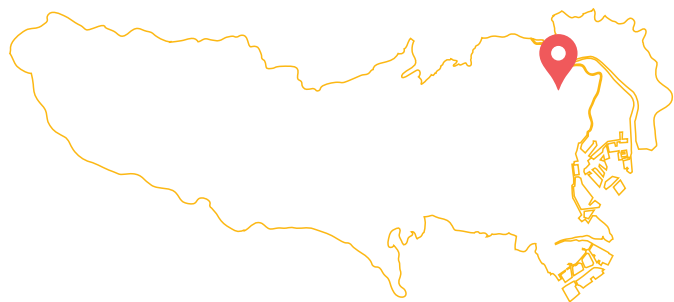
非常時の機動性を重視した、軽量・コンパクトな発電機。避難所などにおける電源供給や夜間の照明の電源など、幅広い用途で活用。



+ 東京観光写真倶楽部 TOKYO SIGHTSEEING PHOTO CLUB

写真とはまさに「光を観ること」。東京をく観光しながら撮影を楽しむことを目的とし、2005年に発足した同倶楽部は、東京諸島を含む都内各地で撮影会を開催している。部長を務めるのは、日本赤十字社契約写真家である菅原一剛氏。東京の写真撮影を続けている同倶楽部とコラボレーションした連載が、Rediscovery TOKYOです。

菅原 一剛HP <http://ichigosugawara.com/>
東京観光写真倶楽部 <http://tokyophoto.ne.jp/>



Rediscovery TOKYO

東京を、再発見しよう

過去14年間に撮影してきた街はすべて、たとえそこで撮られた写真を具体的に覚えていなくても、必ず何らかのイメージを伴っている。

文京区小石川。この街のイメージは「緑色」だ。

季節がら植物の緑がきれいだったこともあるが、それ以上に「小石川植物園」の存在が大きかったように思う。

今でこそ東京大学の付属施設だが、もとは江戸初期に幕府が人々の薬になる植物を育てるため開いた薬草園だったそう。赤ひげで有名な小石川養生所、青木昆陽のサツマイモ栽培が行われた場所としても知られている。

この日、植物園だけでなく、界隈の住宅街で撮影された写真の多くに植物が写っているのは単なる偶然ではないのかもしれない。

300年以上に渡り、民衆のための薬草を育てたり植物を研究したりしてきた場所が発する何かが、「小石川」という街のイメージをも育んできた気がしてならないのだ。

第15回

小石川

赤十字職員からNT読者の皆さんに、お役立ち情報をお伝えする「職員通信」。
第5回は講習普及事業を担当する職員がお届けします。

職員
通信
Vol.5

これからの季節は 子どもの熱中症に気を付けて！



子どもは体重1kgあたりの体表面積が成人に比べて大きく、体温調節機能も未熟なため、外気温の影響を受けやすく、熱中症に注意が必要です。水分補給や遊び場の環境に十分な注意を払いましょう。どういう症状の時に早く医師にみせたほうがいいのか、どんな手当をすればいいのか知っておくことも大切です。

予防

- ▶ 室温の調整に気を配る
- ▶ 吸湿性、通気性の良い衣服を着用させる
- ▶ のどが渇く前や暑いところに出る前から、こまめに水分補給する
- ▶ 子どもを炎天下や自動車の中、暑い室内などに残さない

手当

- ▶ できるだけ早く風通しの良い日陰やクーラーが効いている室内などに避難する
- ▶ 衣類を脱がせて身体から熱を放散する
- ▶ 意識があり、吐き気や嘔吐などがなければ、冷たい水や塩分、子ども用スポーツ飲料などを飲ませる



🚨 こんな時は119番通報 🚨

- 水分が補給できない
- 症状に改善が見られない
- 様子がおかしい
- など判断に迷う場合

出典：赤十字幼児安全法講習教本

今回、お届けしたのは…

日本赤十字社東京都支部 健康安全課

山口 玲子 やまぐち れいこ

大森赤十字病院の看護師として経験を積み、現在は講習普及事業を担当。健康生活支援講習や幼児安全法の講師として、誰もが健康で安全な暮らしを送るための知識や技術を伝えている。

このほかにも、赤十字講習の知識を動画で紹介しています。



WEB CROSS

電子講習室



日本赤十字社 東京都支部
Japanese Red Cross Society

〒169-8540 東京都新宿区大久保1丁目2番15号
TEL 03-5273-6741 (代表) FAX 03-5273-6749 <http://www.tokyo.jrc.or.jp>

Facebookも見てね！

